

東北部会第 47 回学術大会開催にあたって

(社)日本放射線技術学会

東北部会長 梁川 功

東北部会第 47 回学術大会が秋田県秋田市において開催されますことを会員の皆様とともに心からお慶び申し上げます。

今大会開催にあたり三浦初男大会長をはじめ、豊嶋英仁実行委員長ならびに多くの実行委員の皆様には大変お忙しい中、大会の企画から開催準備、大会運営にと多大なご尽力をいただき、感謝とお礼を申し上げます。

秋田県での東北部会学術大会の開催は、平成 14 年に秋田県大潟村サンルーラル大潟で開催されました第 40 回大会以来となります。

今大会の一般研究発表の登録数は67題となっています。多忙な日常業務にもかかわらず多くの演題が寄せられ、会員各位の熱意に厚く感謝申し上げます。東北部会では昨年度より学術奨励賞を制定し、技術学会誌ならびに英語論文誌に掲載された論文のうち優秀と認められた会員を表彰することとしました。研究発表のみにとどまらず、貴重な成果を論文にまとめていただき、原著論文として技術学会雑誌あるいは英語論文誌に数多く投稿していただくようお願いいたします。また、東北部会では会員の研究の奨励、論文化の促進をはかるため、施設・地域を越えた広域的な研究テーマに対して積極的に研究助成を行っております。

特別講演は、『動物のいのち見つめて』と題しまして、秋田市大森山動物園の小松守園長先生にお願いしております。先生の動物園での体験を通じて動物の命についての考察の一端をお伺いできる、貴重なご講演となることと思われます。シンポジウムでは、最近増えつつある 3T-MRI 装置を取り上げ『高磁場 3T-MRI の特徴と臨床的有用性』というテーマで、臨床における有用性、技術的な問題などが討論されます。また、テクニカルミーティングは、CR・CT・MR・核医学・放射線治療の 5 分野で、明日からの診療に役立つ基礎的なテーマで討議されます。昨年から行われております、デジタルマンモグラフィセミナーを山形大学大学院がん医療学講座乳腺腫瘍専門診療放射線技師コースと共催で行います。さらには、今回の新たな企画として、学術大会開催前の会場を利用し、東北循環器撮影研究会、東北MR技術研究会主催の教育セミナーを行っていただくことにしました。

以上のように、実行委員会の皆様のご尽力により、盛り沢山の企画を準備していただきました。今学術大会を盛り上げ、実りある大会となるよう、多くの会員の皆様の参加をお待ちしております。

さて、東北部会では、今後の学術大会の在り方、特に東北地域の放射線技師会との合同開催の実現に向けてのワーキンググループを発足し、検討しております。さらには、来年の日本放射線技術学会第38回秋季学術大会は東北部会が担当し、2010年10月14日(木)～16日(土)の期日で、仙台国際センターを会場に開催されますので、ご協力ほどよろしくお願いいたします。

最後になりますが、本学術大会開催にあたりましてご支援、ご協力を賜りました関係各位に心より感謝と御礼を申し上げます。